

〔北邊隨筆三〕夢現。

亡父成章云、いねてみるは夢なり、さめてみる所はうつ、なり、今いふがひなきもの、夢にもあらず、さめてもあらぬを、うつ、といふは、夢かうつ、かなどいふ詞を、大かたに心得たるなるべしといへり、げに俗言にいふ所をもて、古言をあやまる事すくなからずかし、

〔萬葉集十七〕述戀緒歌一首并短歌略

之伎多倍能蘇泥可弊之都追宿夜於知受伊米爾波見禮登宇都追爾之多太爾安良禰婆孤悲之家口、知弊爾都母里奴略

右三月二十日、夜裏忽今起戀情作、大伴家持

〔伊勢物語下〕むかし男有けり、その男いせの國に、かりのつかひにいきけるに、○中女のもとより詞はなくて、

君やこしわれや行けんおもほへず夢か。う。つ。か。ね。て。か。覺。て。か。男。い。と。い。た。う。な。き。て。よ。め。る。か。き。く。ら。す。心。の。や。み。に。ま。ど。ひ。に。き。夢。う。つ。と。は。今。宵。さ。だ。め。よ。と。よ。み。て。や。り。て。か。り。に。出。ぬ。

〔古今和歌集十三〕題しらす

讀人しらす

むば玉のやみのうつ、はさだかなる夢にいくらもまさらざりけり

〔宇治拾遺物語八〕さらば祈まいらせんに、劔の護法をまいらせん、をのづから御夢にもまぼろしにも御覽せば、さとしらせたまへ劔をあみつ、きぬにきたる護法なり、

〔下學集下〕態藝一炊夢日本俗推量炊

〔書言字考節用集八〕言辭一炊夢古來本說未決盧生呂

〔書言字考節用集四〕呂翁神仙人、唐開元七年、於鄆邸舍、借枕於

房先生、炊食之間、洞寢、枕昏、夢五十年榮悴、事詳列仙傳、才子傳、佛祖統記、

呂洞賓神仙人、名岩、唐會昌年中、於長安酒肆、